

光沢ある、蠟細工のような質感の小花。

< 植物名 >

カメラウキウム
ワックスフラワー

水やり

土の表面が乾いたら水やりする。

置き場所

春～秋は室内外の出来るだけ日当たりの良い場所で、冬は室内で管理。

用土肥料

弱アルカリ性の砂質の用土を好む。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

特記事項なし。

冬越し

冬は室内。軽い霜には耐えることができる。

使い方 鉢植え、切花、ドライフラワー

学名 *Chamelaucium uncinatum*

英名 Geraldton wax

属名 ワックスフラワー

科名 フトモモ

性状(分類) 常緑低木

原産地 オーストラリア

花の色 白、赤、ピンク、紫、赤紫など

開花期 冬～春

購入時期

草丈 200～300 cm

ID 9

季節 春、冬

JFコード 19602



冬越しと置き場所

日当たりと水はけが良い場所を好む。冬は室内、春～秋は室内外の出来るだけ日当たりの良い場所で管理する。ある程度の乾燥や、軽い霜には耐えることが出来る。弱アルカリ性の砂質の用土を好む。

その他の解説

花が終わったら剪定して樹形を整える。

特徴1

ドライフラワーにおすすめ。変わった質感の花。土の表面が乾いたら水やりする。過湿にすると根が腐りやすいので注意。ある程度の乾燥には耐えることができる。

特徴2

オーストラリア固有の植物で、約12種がウエスタンオーストラリア州に自生するといわれている。5弁の花びらを持つ光沢のある蠟細工のような質感がある小花が、よく分枝した枝の葉脈などに無数に付く。ワックスフラワーの名は、この花の状態から名付けられた。花色もいろいろあり、切花やドライフラワーにしても楽しめる。